

原年度の時にやらせてもらいました。原さんが「全国1位になりたい」と言うので計画を作ったのですが、予算が大幅に出てしまったのです。当然会計責任者からその予算は出せませんと言われ、会場が静まりかえってしまったので「これはまずいな」と思ったのですが、その時に原さんが「その通りに出してやってください。経費は私のガバナー予算から出してください」と言ってくれました。まさか通ると思ってなかったもので、私も困りましたが約束は約束なので地区の皆さんと頑張りまして、女性会員の増強に力を入れました。東京の女性会員が多いクラブから講師を呼び女性会員増強セミナーを開催し、好評でした。また委員が各地域を回って呼びかけをした結果、全国1位になりました。原さんは喜んでくれ、原さんが亡くなるまで付き合いは続きました。

次に、中条さんがガバナーになる時に国際協議会でクラブを新しく作ると約束してきてしまいました。クラブの皆さんといろいろとやったんですが、なかなかうまく行かなかったのですが、2～3年もするとたまたま新しく大きな会社が入って来てくれて、新しいクラブを創ることが出来ました。

もうひとつ、柏崎の植木年度でガバナー補佐をしました。植木さんはずっと30数年も透析をしている方でした。その時わたしも難病にかかっていたました。原因は不摂生だと思いますが、植木さんは思いやりがある方で地区全員が後押しをしてガバナーになられたのだと思います。

もう一人、田中作次さんです。ご存知かと思います。私はそれまではロータリーでは会員同士友だちとして仲良くやっていこうという気持ちでしたが、田中さんと出会い、考えが変わりました。

田中さんは六日町出身で上京して立身出世した方です。私が感心したのは田中さんは全財産をロータリーに寄付したのです。どうしてそんな考えになるのか聞いたところ、「もう子どもは独立しているし、お金を残すよりも、ロータリーに寄付した方が多くの方が助かる」と話されました。その後、国際ロータリーの会長になりました。

私の人生の局面で良い人たちに出会い今日ここに立っているのだと思います。少しでも皆さんのお役に立てるように頑張っていきたいと思います。

【長谷川ガバナー補佐総評】

合同例会は初めてで、勉強になりました。水原・豊栄両クラブの協力に感謝をします。また、時間配分の点で至らない点があり反省をしています。ありがとうございました。

